

平成29年度綾部市一般会計 特別会計及び公営企業会計決算の概要

1. 一般会計決算について

(1) 概要

「医・職・住・教育・情報発信」をキーワードとして、安全・安心や次世代に向けた子育て・教育環境の整備など、「住み続けられるまちづくり」を目指した施策を積極的に推進

■ 46年連続黒字

国の地方創生に係る交付金や補正予算による補助金を有効活用するとともに、基金からの繰入れや市債の発行等により、46年連続で黒字を確保

■ 歳入総額 1. 8%増

- 市税 46億3,804万8千円 (1億4,800万3千円 3.3%増)
- 市債 18億2,610万円 (4億4,780万円 32.5%増)
- 地方交付税 45億3,130万6千円 (6,142万9千円 1.3%減)
- 繰入金 6億5,634万7千円 (1億3,491万4千円 17.1%減)

■ 歳出総額 2. 0%増

- 人件費 33億2,859万円 (1億4,138万8千円 4.4%増)
- 普通建設事業費 24億9,230万円 (2億4,332万7千円 10.8%増)
 - 社会体育施設整備事業費(新市民センター) 3億7,739万円
 - 中学校給食室整備事業費 2億3,030万円
 - リサイクル施設整備事業費 2億3,020万円
 - 東綾中学校改築事業費 1億3,445万円
 - 北部産業創造センター整備事業費(ものづくり交流館) 1億2,000万円
- 公債費 13億6,509万1千円 (6,960万7千円 4.9%減)

■ 度重なる台風災害への対応

相次ぐ台風(8月・台風5号、9月・台風18号、10月・台風21号)による災害の早期復旧に向けた取組
災害復旧事業費1億4,749万7千円 (4億7,161万円を翌年度へ繰越)

■ 主な財政指標

- 経常収支比率 94.1% (5.6ポイント増) 過去最も高い数値
- 実質公債費比率 10.4% (0.5ポイント減) 過去最も低い数値
- 市民1人当たり市税収入 137,188円 (4.7%増)
- 市民1人当たり市債残高 411,236円 (5.5%増)
- 市民1人当たり基金残高 114,236円 (7.3%減)

(2) 決算規模等 (資料1)

『歳入総額』171億 186万円 (前年度対比1.8%増)

『歳出総額』170億7,728万7千円 (前年度対比2.0%増) で
決算規模は、歳入歳出ともに前年度を上回りました。

『歳入歳出差引』は、2,457万3千円となり、このうち事業の繰越しに伴う翌年度に繰り越すべき財源1,419万5千円を差し引いた

『実質収支』は、1,037万8千円で46年連続黒字となりました。

(単位：千円、%)

区 分	平成29年度	平成28年度	差 引	増 減 率
歳 入 総 額	17,101,860	16,801,309	300,551	1.8
歳 出 総 額	17,077,287	16,746,154	331,133	2.0
歳 入 歳 出 差 引	24,573	55,155	▲30,582	▲55.4
翌年度へ繰り越すべき財源	14,195	47,261	▲33,066	▲70.0
実 質 収 支	10,378	7,894	2,484	31.5

(3) 歳入 (資料2・3)

(主な増加科目)

○市税 46億3,804万8千円 (1億4,800万3千円 3.3%増)

製造業等を中心に企業収益の伸びにより法人市民税が増加(+8,587万9千円)するとともに、積極的な設備投資により償却資産を中心に固定資産税も増額(+6,457万1千円)となった。

○寄附金 4,475万9千円 (2,751万2千円 159.5%増)

ふるさと納税においてインターネットを通じて寄付ができる環境を整えたこと等により大幅に増額となった。

※ふるさと納税 3,369万2千円 (+2,056万4千円 156.6%)

○市債 18億2,610万円 (4億4,780万円 32.5%増)

社会体育施設整備事業費【(仮称)新市民センター】(+1億4,360万円)、リサイクル施設整備事業費(+1億3,910万円)、中学校給食室整備事業費(+1億6,410万円)、北部産業創造センター(綾部市ものづくり交流館)整備事業費(+6,000万円)等の借り入れにより増額となった。

(主な減少科目)

○地方消費税交付金 5億9,648万3千円(2,978万3千円 4.8%減)

税制改正に伴う配分方法の変更等により減額となった。

○地方交付税 45億3,130万6千円(6,142万9千円 1.3%減)

特別交付税は増加(+628万7千円)したものの、普通交付税は基準財政収入額の増加等により減額(▲6,771万6千円)となった。

○国庫支出金 20億1,677万円(6,421万5千円 3.1%減)

普通建設事業に対する補助金等は増加(+3,192万6千円)したものの、臨時福祉給付金の減(▲9,892万8千円)等により減額となった。

○繰入金 6億5,634万7千円(1億3,491万4千円 17.1%減)

豪雨災害の対応等により、財政調整基金から2億9千万円(+5,400万円)を繰り入れたものの、電源立地地域対策基金繰入金の減(▲1億7,295万7千円)等により減額となった。

(4) 歳出(資料2・3)

(主な増加科目:性質別)

○人件費 33億2,859万円(1億4,138万8千円 4.4%増)

職員給与費の増(+8,580万5千円)、災害対応等による時間外手当の増(+3,001万8千円)等により増額となった。

○普通建設事業費 24億9,230万円(2億4,332万7千円 10.8%増)

社会体育施設整備事業費【(仮称)新市民センター】(+1億7,737万8千円)、中学校給食室整備事業費(+2億2,924万4千円)、北部産業創造センター整備事業費【綾部市ものづくり交流館】(+1億2,000万円)等により増額となった。

○繰出金 26億5,750万7千円(2,477万6千円 0.9%増)

下水道事業特別会計繰出金(+1,832万5千円)、地域排水事業特別会計繰出金の増(+1,099万円)等により増額となった。

(主な減少科目:性質別)

○物件費 23億7,887万2千円(4,032万4千円 1.7%減)

固定資産税評価システム、評価替経費の減(▲3,534万4千円)等により減となった。

○公債費 13億6,509万1千円(6,960万7千円 4.9%減)

元利償還金の減により減額となった。

○投資及び出資金、貸付金 8,678万円(2,651万5千円 23.4%減)

勤労者住宅資金貸付金の減(▲2,000万円)等により減額となった。

○災害復旧事業費 1億4,749万7千円(532万6千円 3.5%減)

8月から10月に発生した豪雨災害で甚大な被害を受け、4億7,161万5千円を翌年度へ繰り越したことにより減額となった。

2. 主な財政指標等(普通会計)

(1) 概要

■経常収支比率は5.6ポイント上昇

財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は、経常経費の削減に努めたものの、前年度対比5.6ポイント上昇悪化し、94.1%【過去最も高い数値】

■健全化判断比率等及び資金不足比率は安全圏内

実質公債費比率は、普通建設事業費への計画的な市債借入により、0.5ポイント改善し、10.4%【過去最も低い数値】

将来負担比率については、前年度対比34.4ポイント上昇し、113.8%

(2) 財政指標等

(単位：千円、%、ポイント)

区 分	平成29年度	平成28年度	比較等
市債残高	13,903,068	13,365,422	537,646
基金残高	3,862,081	4,225,767	▲363,686
財政調整基金	1,635,125	1,917,019	▲281,981
減債基金	315,228	313,984	1,244
その他基金	1,911,728	1,994,764	▲83,036
経常収支比率	94.1	88.5	5.6

(3) 市民1人当たり指標

(単位：円、%)

区 分	平成29年度	平成28年度	比較等
市民1人当たり市税収入	137,188	130,985	4.7
市民1人当たり市債残高	411,236	389,901	5.5
市民1人当たり基金残高	114,236	123,276	▲7.3

(平成29年度末住民基本台帳人口：33,808人)

(4) 健全化判断比率等

(単位：%、ポイント)

区 分	平成29年度	平成28年度	比較等	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	13.41
連結実質赤字比率	—	—	—	18.41
実質公債費比率(3か年平均)	10.4	10.9	▲0.5	25.00
将来負担比率	113.8	79.4	34.4	350.00
資金不足比率	上水道事業会計	—	—	経営健全化基準 20.00
	病院事業会計	—	—	
	簡易水道特別会計	—	—	
	下水道事業特別会計	—	—	
	地域排水事業特別会計	—	—	
	住宅・工業団地事業特別会計	—	—	

注) 実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は赤字及び資金不足が発生した場合にのみ算出されるもので、会計が黒字等で比率が算出されない場合は「—」と表示

健全化判断比率等の解説

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、地方公共団体は、毎年度、実質的な赤字や外郭団体を含めた実質的な将来負担等に係る4つの指標(健全化判断比率)と公営企業ごとの資金不足率(資金不足比率)を議会に報告し、公表することが義務づけられている。

- 【実質赤字比率】 一般会計等の赤字の程度を指標化したもので、一般会計等の赤字額/標準財政規模で求められる数値
- 【連結実質赤字比率】 市のすべての会計の赤字・黒字を合計した場合の赤字の程度を指標化したもので、全ての会計の赤字・黒字を合算した場合の赤字/標準財政規模で求められる数値
- 【実質公債費比率】 標準財政規模に占める実質的な公債費(他会計の公債費に対する一般会計繰出金等を含む。)に費やした一般財源の割合を表す数値(過去3か年平均)
- 【将来負担比率】 地方債や今後、他会計の公債費に対して支出が見込まれる一般会計繰出金など将来負担していく可能性のある負担の年度末時点における残高を指標化したもの
- 【資金不足比率】 企業会計の資金不足(赤字)の程度を指標化したもので、それぞれの企業会計の資金不足額/それぞれの企業会計の事業の規模で求められる数値

3. 平成29年度の主要施策

■「医」＝医療・福祉・介護・子育て ほか

- ファミリー・サポート・センター事業費（283万2千円）
会員相互の育児援助活動を支援
- 物部保育園改修事業費（8,240万6千円）
園舎の改修による保育環境の整備

■「職」＝農・林・商・工・観光 ほか

- 北部産業創造センター整備事業費（1億2千万円）
綾部市ものづくり交流館の整備
- あやべ温泉施設改修事業費（1,315万円）
屋根防水改修、食堂テラス・食堂手洗器設置等

■「住」＝安全安心、インフラ・公共施設・定住促進 など

- 大谷池排水対策事業費（2,880万円）
実施設計・安全対策工事
- 上林出張所整備事業費（1,358万6千円）
上林出張所24時間体制に向けた施設整備
- 住みたくなる綾部留学プロジェクト事業費（778万2千円）
コミュニティナース3人を配置
- 志賀郷公民館改修事業費（1億1,841万円）
地域振興・都市農村交流等の拠点施設を改修

■「教育」「情報発信」

- 給食室整備事業費（2億3,031万円）
綾部・八田中学校の給食室整備
- 東綾中学校改築事業費（1億3,445万9千円）
本市2校目となる施設一体型小中一貫校が完成
- 社会体育施設整備事業費【（仮称）新市民センター】
（3億7,739万8千円）
建築本体、機械設備、電気設備工事等

■度重なる豪雨災害への早期復旧対応

- 公共土木施設災害復旧費（3,499万9千円）
道路8件、河川11件
- 農林水産業施設災害復旧費（583万2千円）
農地2件、農業用施設2件
- 文教施設災害復旧費（30万7千円）
中学校法面1件
- 応急災害復旧費（1億367万9千円）
公共土木、農林水産業施設測量設計、応急復旧等274件

『医』…医療・福祉・介護・子育て ほか	
子育て世代包括支援センター事業費	2,262 千円
障害福祉サービス事業所等施設整備事業費	5,116 千円
ファミリー・サポート・センター事業費	2,832 千円
物部保育園改修事業費	82,406 千円
介護福祉士養成支援事業費	1,980 千円
綾部市手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の 促進に関する条例策定・啓発事業費	1,027 千円
『職』…農・林・商・工・観光ほか	
北部創造センター整備事業費	120,000 千円
北部地域連携都市圏ステップアップ事業費	2,220 千円
村おこし研修館改修事業費	13,457 千円
古道再生事業費	3,500 千円
野生鳥獣被害総合対策事業費	38,906 千円
ニホンザル被害対策事業費	730 千円
商店街等活性化事業費補助金	4,060 千円
あやべ温泉施設改修事業費	13,150 千円
観光施設案内サイン整備事業費	2,644 千円
『住』…安全安心・インフラ・公共施設・定住促進など	
大谷池排水対策事業費	28,800 千円
駅再生プロジェクト事業費	2,866 千円
住みたくなる綾部留学プロジェクト事業費	7,782 千円
水源の里活性化事業費（補助金）	6,403 千円
リサイクル施設整備事業費	230,200 千円
急傾斜地崩壊対策事業費	3,200 千円
道路整備事業費	119,738 千円
橋りょう長寿命化対策事業費	104,659 千円
黒谷川整備事業費	8,316 千円
住宅維持管理費	69,038 千円
地籍調査事業費	4,089 千円
コミュニティ助成事業費	5,290 千円
上林出張所整備事業費	13,586 千円
消防車両整備事業費	54,571 千円
消防団統合整備事業費	22,715 千円
志賀郷公民館改修事業費	118,421 千円
『教育』・『情報発信』	
小学校英語教育推進リーダー養成事業費	756 千円
給食室整備事業費	230,310 千円
中学校大規模改修事業費	26,742 千円
東綾中学校改築事業費	134,459 千円
社会体育施設整備事業費	377,398 千円
天文館改修事業費	8,947 千円
『度重なる豪雨災害への対応』	
現年発生公共土木施設災害復旧事業費	34,999 千円
現年発生農地等災害復旧事業費	5,832 千円
現年発生公立学校施設災害復旧事業費	307 千円
応急災害復旧事業費	103,679 千円

4. 特別会計決算について

(1) 概要

■ 10 特別会計のすべての会計において、黒字又は収支ゼロ

(2) 決算収支（資料1）

(3) 平成29年度の主要施策

● 駐車場特別会計

・ 綾部駅南駐車場用地購入事業費（土地開発基金保有地の買戻し） 10,000 千円

● 簡易水道事業特別会計

・ 山家西簡易水道統合整備事業費（配水管整備等） 198,913 千円

・ 口上林簡易水道浄水場整備事業費（浄水設備整備） 10,692 千円

● 下水道事業特別会計

・ 下水道整備事業費（管きよ整備等） 1,089,320 千円

・ 雨水対策事業費（事業計画等策定） 70,531 千円

・ 綾部第2第3処理区統合事業費 3,672 千円

● 地域排水事業特別会計

・ 特定地域生活排水処理事業費（浄化槽整備） 54,196 千円

5. 公営企業会計決算について

(1) 概要

■ 上水道事業会計は、35年連続黒字

■ 病院事業会計は、医業損失は改善するも2年連続赤字

（主な要因）

● 平成28年度の退職給付引当金一括支払いの影響を除いても、収支は改善
（H29 △43,654 千円 H28 △79,989 千円）

● 入院者数の増加（H29 65,612 人 H28 63,139 人）

● 産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科での常勤医師体制の縮小や不在

(2) 決算収支（資料1）

(3) 平成29年度の主要施策

● 上水道事業会計

・ 新第一浄水場整備事業費（浄水場建設等） 252,879 千円

● 病院事業会計

・ 医療機器等整備事業費（機器等整備） 272,082 千円

・ 手術室空調設備改修事業費 27,663 千円